

整理番号	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)01保健衛生費(目)03環境対策費(細目)257浄化槽設置及び管理事業	決算書頁
241 - 0		219

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	232 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-03-257-51
	基本事業	② 下水道事業	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	合併処理浄化槽設置及び管理事業	部・課名等	上下水道部営業課	課長 清水 圭子 0595-24-0003

事務事業の概要	対象	公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント整備事業等の事業認可を除く区域の市民													
	目的	合併処理浄化槽の普及促進を図る。													
	内容	<p>生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に、合併処理浄化槽の普及を促進し、設置費用の一部を補助しました。</p> <p>平成29年度</p> <p>5人槽 96 基 (@219,000円) 7人槽 60 基 (@273,000円) 10人槽 0 基 (@362,000円) 計 156 基</p>													
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>37,434,000円</td> <td>合併処理浄化槽設置整備事業補助金</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>106,535円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,540,535円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	37,434,000円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	その他経費	106,535円		計	37,540,535円			
経費	金額	摘要													
負担金、補助及び交付金	37,434,000円	合併処理浄化槽設置整備事業補助金													
その他経費	106,535円														
計	37,540,535円														

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	15,379	22,281	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	29,691	24,170	19,656	24,164		
	合計(A)	45,070	46,451	37,541	46,445		
人件費	正規職員	業務量	0.82 人	0.82 人	0.82 人	0.82 人	
		人件費	6,389	6,430	6,430	6,151	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	6,389	6,430	6,430	6,151		
	合計(A+B)	51,459	52,881	43,971	52,596		
市民1人当たりのコスト(円)			546	567	471	569	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	合併浄化槽普及率	補助実績基数/目標補助基数	%	目標		100	100	100
				実績	86	81	82	
指標化できない成果			達成		81.0%	82.0%		

方向	継続	課題及び改善案	引き続き、国、県の補助金額を確保できるよう要望し、合併処理浄化槽設置の啓発活動を行います。
----	----	---------	-----------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	721 健全な財政運営	平成 29 年度～平成 32 年度	01-04-01-03-692-53
	基本事業	① 持続可能な行財政運営の推進		
	事務事業名	浄化槽事業繰出金	担当部署	部・課名等 財務部財政課
				評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	浄化槽事業		
	目的	公共管理浄化槽施設の経営健全化を図る。		
	内容	<p>平成29年度から下水道事業が地方公営企業法の適用となりました。 下水道事業会計浄化槽事業において、浄化槽市町村整備推進事業における公共管理浄化槽施設の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費については使用料で賄うこととし、一般会計繰出金を次のとおり繰出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業起債償還に要した経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要した経費 ・下水道事業経営戦略策業務に要した経費 		
事業に要した主な経費など		項目	金額	摘要
		繰出金	12,660,904円	浄化槽事業繰出金

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・総務省の通知に基づく繰出金については、地方交付税等において考慮するものとされています。
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	0	15,333	12,661	13,249	
	合計(A)	0	15,333	12,661	13,249			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	0	0	0			
合計(A+B)	0	15,333	12,661	13,249				
市民1人当たりのコスト(円)			0	165	136	144		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果			達成				

方向	課題及び改善案

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	721	健全な財政運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-04-258-51
	基本事業	②	公有資産の有効活用		
	事務事業名	斎苑管理運営経費		担当部署	部・課名等
				人権生活環境部市民生活課	評価責任者・連絡先
					課長 田中 克典 0595-22-9638

事務事業の概要	対象	市民																													
	目的	故人を偲ぶ終焉の場にふさわしい尊厳と品位の保持を図るため、計画的に点検・改修し、施設を維持する。																													
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設設備保守点検業務 <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備保守点検 ・消防設備等保守点検 ・浄化槽清掃等保守点検 ○施設維持管理業務等 <ul style="list-style-type: none"> ・自家発電保守点検 ・火葬炉保守点検 ・樹木剪定伐採等 ○施設改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・主燃焼炉補修工事 ・自家発電設備バッテリー取替工事 ・オイルギヤポンプ交換工事 ・施設内監視装置更新工事 ・火葬台車耐火物取替工事 																													
	事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">7,893,344円</td> <td>火葬炉燃料(灯油)</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">4,081,033円</td> <td>電気・ガス・水道</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">10,885,320円</td> <td>火葬業務委託料(株キタモリ) 7,039,440円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施設設備保守点検委託料 1,892,160円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施設維持管理委託料等 1,953,720円</td> </tr> <tr> <td>施設改修工事費</td> <td style="text-align: right;">3,159,324円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2,173,044円</td> <td>消耗品費、機械器具借上料、手数料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">28,192,065円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要	燃料費	7,893,344円	火葬炉燃料(灯油)	光熱水費	4,081,033円	電気・ガス・水道	委託料	10,885,320円	火葬業務委託料(株キタモリ) 7,039,440円			施設設備保守点検委託料 1,892,160円			施設維持管理委託料等 1,953,720円	施設改修工事費	3,159,324円		その他	2,173,044円	消耗品費、機械器具借上料、手数料	計	28,192,065円
経費	金額	摘要																													
燃料費	7,893,344円	火葬炉燃料(灯油)																													
光熱水費	4,081,033円	電気・ガス・水道																													
委託料	10,885,320円	火葬業務委託料(株キタモリ) 7,039,440円																													
		施設設備保守点検委託料 1,892,160円																													
		施設維持管理委託料等 1,953,720円																													
施設改修工事費	3,159,324円																														
その他	2,173,044円	消耗品費、機械器具借上料、手数料																													
計	28,192,065円																														

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金	0		0
地方債	0				6,700	3,000	0	
その他	23,638				20,095	22,972	22,995	
一般財源	5,550				7,332	2,220	8,837	
合計(A)	29,188				34,127	28,192	31,832	
人件費	正規職員		業務量	0.39 人	0.39 人	0.39 人	0.39 人	
			人件費	3,039	3,058	3,058	2,926	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人
				人件費	269	271	247	246
			小計(B)	3,308	3,329	3,305	3,172	
合計(A+B)	32,496	37,456	31,497	35,004				
市民1人当たりのコスト(円)			345	402	338	379		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
					目標				
					実績				
	指標化できない成果			達成					

方向	—	課題及び改善案 火葬炉については、計画的に改修を行っているが、経年劣化による設備等の不具合も多くなっています。施設全体の改築等検討する必要があります。
-----------	---	---------------------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	231	廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-01-260-01
	基本事業	② 分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上	担当部署	部・課名等
事務事業名	清掃管理経費	人権生活環境部廃棄物対策課	課長 高木 忠幸	0595-20-1050

事務事業の概要	対象	一般廃棄物処理基本計画																												
	目的	一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみと生活排水処理に関する課題に対応しました。																												
	内容	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、市が実施する清掃事業の実施計画を立案して業務を行いました。</p> <p>伊賀市一般廃棄物の収集、運搬、処分及び浄化槽清掃業の委託、許可、更新等に関する審査委員会条例に基づき、該当事業の適正化と円滑な推進を図ることを目的として、3回の審査委員会を開催して審査を実施しました。</p> <p>廃棄物処理施設所在地域及び跡地の水質や土壌等について、物質濃度等の状況を把握し、公害防止対策の資料とするため環境調査を実施しました。</p>																												
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>204,000円</td> <td>一般廃棄物収集運搬等許可審査委員報酬等</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>45,785円</td> <td>委員旅費、研修旅費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>142,854円</td> <td>固定電話料金、公用車タイヤ交換</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>152,276円</td> <td>複写料金、燃料費、公用車法定点検</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31,620円</td> <td>負担金</td> </tr> <tr> <td>(さくらリサイクルセンター予算分)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,330,100円</td> <td>花垣地区環境調査業務、しらすぎクリーンセンター跡地環境調査業務</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,906,635円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	204,000円	一般廃棄物収集運搬等許可審査委員報酬等	旅費	45,785円	委員旅費、研修旅費	役務費	142,854円	固定電話料金、公用車タイヤ交換	需用費	152,276円	複写料金、燃料費、公用車法定点検	その他	31,620円	負担金	(さくらリサイクルセンター予算分)			委託料	2,330,100円	花垣地区環境調査業務、しらすぎクリーンセンター跡地環境調査業務	計	2,906,635円			
経費	金額	摘要																												
報酬	204,000円	一般廃棄物収集運搬等許可審査委員報酬等																												
旅費	45,785円	委員旅費、研修旅費																												
役務費	142,854円	固定電話料金、公用車タイヤ交換																												
需用費	152,276円	複写料金、燃料費、公用車法定点検																												
その他	31,620円	負担金																												
(さくらリサイクルセンター予算分)																														
委託料	2,330,100円	花垣地区環境調査業務、しらすぎクリーンセンター跡地環境調査業務																												
計	2,906,635円																													

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	13	231	235	16		
	一般財源	4,259	3,293	2,672	723		
	合計(A)	4,272	3,524	2,907	739		
人件費	正規職員	業務量	0.98 人	0.50 人	0.30 人	0.30 人	
		人件費	7,636	3,921	2,353	2,251	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,636	3,921	2,353	2,251		
	合計(A+B)	11,908	7,445	5,260	2,990		
市民1人当たりのコスト(円)			127	80	57	33	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	事業の進捗状況		計画策定に当り、現在の計画を見直すと共に、新たな施策を検討する。	%	目標	100	100	100
					実績	80	100	100
指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%			

方向	継続	課題及び改善案	平成28年度からのごみ処理の長期的な基本方策を定めており、これに基づいて今後の事業について進めていく。
----	----	---------	-----------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)01清掃総務費(細目)260清掃管理経費	決算書頁
245 - 0		221

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-01-260-51
	基本事業	② 分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上	担当部署	部・課名等
事務事業名	一般廃棄物減量等推進事業		人権生活環境部廃棄物対策課	評価責任者・連絡先 課長 高木 忠幸 0595-20-1050

事務事業の概要	対象	一般家庭から排出される可燃ごみ		
	目的	資源・ごみの分別の徹底により可燃ごみ排出量を減少させる。		
	内容	<p>・一般廃棄物の減量化・再資源化及び環境美化への取り組みを図るため、ごみ減量・リサイクル等推進委員会を2回開催しました。</p> <p>・指定ごみ袋の発注と販売を行いました。</p> <p>・環境学習の一環として、再生利用可能な廃棄物(紙・布類)の集団回収を行った登録団体に対し、回収量1kg当り3円の奨励金を交付しました。</p> <p>・家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥としての資源化を図るため、生ごみ処理容器を設置する者に対し購入費の一部(3分の1)の補助金を交付しました。</p> <p>・資源再利用物の回収奨励金交付事業の実施 申請:延べ119件 回収量:278,347.5kg</p> <p>・生ごみ処理容器購入費補助金交付事業の実施 申請:19件(電動10件、手動9件)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	172,700円	ごみ減量・リサイクル等推進委員報酬	
	報償費	835,042円	資源再利用物回収奨励金	
	需用費	15,633,980円	指定ごみ袋購入、燃料費等	
	手数料	5,667,200円	指定ごみ袋・差額シール取扱店手数料	
	委託料	3,009,570円	指定ごみ袋保管・配送業務委託等	
	負担金・補助及び交付金	186,800円	生ごみ処理機及びコンポスト設置補助金	
	その他	30,641円	委員旅費等	
	小計	25,535,933円		
	(明許繰越分)			
	需用費	10,270,800円	指定ごみ袋購入(追加分)	
	合計	35,806,733円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	一般廃棄物処理手数料、広告料	
		地方債	0	0	0		
		その他	25,465	33,035	35,807		33,275
		一般財源	0	0	0		0
		合計(A)	25,465	33,035	35,807		33,275
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.16 人	1.16 人	1.20 人	1.20 人	
		人件費	9,038	9,096	9,410	9,002	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	9,038	9,096	9,410	9,002	
合計(A+B)	34,503	42,131	45,217	42,277			
市民1人当たりのコスト(円)		366	452	485	458		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
可燃ごみ排出量の減量	さくらリサイクルセンターでの可燃ごみ処理量	トン	目標		21,637	21,503	21,400
			実績	20,713	20,684	20,778	
指標化できない成果		達成		104.6%	103.5%		

方向	改善	課題及び改善案	一般廃棄物の減量については、可燃ごみの減量が処理コストに大きく左右することから、今後も様々な減量施策を講じる必要がある。2017(H29)年度のさくらリサイクルセンターにおける可燃ごみ処理量は、10月の大雨により浮きごみなどが増えたことで前年度に比べて処理量が増加した。指標として災害等で発生するごみの発生をどのように見込んでおくかが難しい。
----	----	---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号
246 - 0

(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)01清掃総務費(細目)260清掃管理経費

決算書頁
221

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-01-260-52
	基本事業	① ごみ処理施設コストの軽減	担当部署	部・課名等
事務事業名	伊賀南部環境衛生組合負担金	担当部署	青山支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 田中 佳隆 0595-52-1112

事務事業の概要	対象	青山地域の一般廃棄物								
	目的	青山地域で発生するごみを名張市と共同し適正な処理を行うと共にごみ減量化に努める								
	内容	修繕を含めたごみ焼却施設(伊賀南部クリーンセンター)の維持管理、また、ごみ焼却・分別等の収集等経費について、名張市と共に費用を負担しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊賀南部環境衛生組合負担金</td> <td>176,043,000円</td> <td>伊賀南部環境衛生組合への伊賀市からの負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>176,043,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	伊賀南部環境衛生組合負担金	176,043,000円	伊賀南部環境衛生組合への伊賀市からの負担金	計	176,043,000円
経費	金額	摘要								
伊賀南部環境衛生組合負担金	176,043,000円	伊賀南部環境衛生組合への伊賀市からの負担金								
計	176,043,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	16,200	18,500	18,500	18,000	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	140,876	150,454	157,543	155,337	
		合計(A)	157,076	168,954	176,043	173,337	
	人件費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.10 人	0.10 人
人件費			390	393	785	751	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	390	393	785	751	
		合計(A+B)	157,466	169,347	176,828	174,088	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,671	1,814	1,894	1,883	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	ごみ収集量	ごみの減量化	t	目標		2,033	2,033	2,033
				実績	2,270	2,254	2,197	
指標化できない成果			達成		90.2%	92.5%		

方向	継続	課題及び改善案	今後、施設や設備の老朽化や燃料費の高騰により施設維持管理経費が増加する事が考えられる。そのため、分別の徹底を図り、ごみ減量化をすすめる。
----	----	---------	----------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-262-01	
	基本事業	② 分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上			
	事務事業名	ごみ収集経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			人権生活環境部廃棄物対策課		課長 高木 忠幸 0595-20-1050

事務事業の概要	対象	市民から排出される一般廃棄物			
	目的	分別を適正化し、収集する。			
	内容	<p>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき、一般廃棄物処理計画の策定を行い収集業務を委託しました。なお、業務の実施に際して委託事業者に対しては、ごみ出しルールによる収集方法について説明を行い、不適切排出物には警告シールを貼付するなどにより分別を推進しました。</p> <p>また、硬プラ・革製品類の収集回数を増やすことで、分別の利便を図るとともに、「資源・ごみ収集カレンダー」や「資源・ごみ分別ガイドブック」を配布しました。</p> <p>・外国版5ヶ国語のごみ収集カレンダーを作成しました。</p> <p>・地域においては、自治会等が管理するごみ集積場の新設や改修に対する経費の2分の1の助成を行い、地区集積場の環境整備に努めました。</p> <p>【資源・ごみ収集カレンダー作成部数】日本語版(伊賀北部)45, 300枚、(青山地区)10,000枚、外国語版(5ヶ国語)6, 750枚</p> <p>【集積場整備補助事業】 13件(新規3件、改築10件)</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	1,174,158円	ごみ収集カレンダー印刷、収集車燃料等		
	役務費	600,981円	固定・携帯電話、ごみ収集カレンダー翻訳		
	委託料	387,141,120円	ごみ収集業務委託料、ごみ分別アプリ導入業務等		
	使用料及び賃借料	151,200円	ごみ分別アプリシステム使用料		
	負担金、補助及び交付金	721,000円	一般廃棄物集積場整備等補助金		
	小計	389,788,459円			
	(さくらリサイクルセンター分)				
	報酬ほか	5,427,138円	ごみ収集業務嘱託職員2人分ほか		
	(青山支所分)				
	需用費ほか	307,285円	ごみ収集日程表印刷ほか		
	計	395,522,882円			

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	60,157	50,901	59,355	60,524	
			一般財源	327,240	352,490	336,168	345,239	
	合計(A)	387,397	403,391	395,523	405,763			
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			人件費	7,791	7,841	7,841	7,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
			人件費	3,730	3,819	3,859	4,320	
小計(B)		11,521	11,660	11,700	11,821			
合計(A+B)	398,918	415,051	407,223	417,584				
市民1人当たりのコスト(円)			4,232	4,446	4,362	4,517		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	家庭から排出される資源・ごみの搬入量(集積場収集分)	収集区分の変更や適正な分別により、ごみが減少する。	トン	目標	/	19,811	19,612	19,347
				実績	18,416	18,019	18,690	
指標化できない成果			達成	/	109.9%	104.9%		

方向	継続	課題及び改善案
		ごみ排出量を削減するため「一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、市民・事業者・行政の3者が協力し合い、循環型社会の形成を推進します。資源化の推進と収集コストの削減に努めます。

整理番号
248 - 0

決算書頁
223

(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(細目)262ごみ収集経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	231	廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 24 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-262-52
	基本事業	② 分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上	担当部署	部・課名等
事務事業名	粗大ごみ戸別収集事業		人権生活環境部廃棄物対策課	評価責任者・連絡先 課長 高木 忠幸 0595-20-1050

事務事業の概要	対象	集積場で収集できない粗大ごみ(一般収集)及び排出が困難な高齢者や障がいのある方から排出される粗大ごみ(福祉収集)		
	目的	一般粗大ごみの回収(一般収集)及び高齢者や障がいのある方(福祉収集)の搬出の負担軽減		
	内容	粗大ごみを出す家庭の玄関先まで収集に向く粗大ごみ一般収集事業と、自力で粗大ごみを出すことが困難な高齢者や障がいのある方などの生活を支援する事業として、家屋から粗大ごみを搬出して収集する福祉収集を実施しました。 【粗大ごみ(福祉)収集件数】 231件(青山支所管内除く) 【粗大ごみ(一般)収集件数】 3,076件(青山支所管内除く)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,147,695円	収集車輛燃料費、車輛修繕料、処理券印刷等	
	役務費	497,777円	戸別収集受付電話料、粗大ごみ処理券取扱手数料	
	委託料	3,975,048円	粗大ごみ戸別収集受付業務	
	計	5,620,520円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	1,548	1,560	1,935	1,862		
	一般財源	3,821	3,920	3,686	3,894		
	合計(A)	5,369	5,480	5,621	5,756		
	人件費	正規職員	業務量 3.90 人	3.90 人	3.90 人	3.90 人	
		人件費	30,385	30,580	30,580	29,254	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	30,385	30,580	30,580	29,254	
		合計(A+B)	35,754	36,060	36,201	35,010	
		市民1人当たりのコスト(円)	380	387	388	379	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	戸別収集(一般)件数	粗大ごみ収集件数	件	目標		2,500	2,550	2,600
				実績	2,446	2,545	3,307	
指標化できない成果			達成		101.8%	129.7%		

方向	改善	課題及び改善案	2012(H24)年度から福祉の粗大ごみの収集を実施、2014(H26)年度からは一般の粗大ごみ収集事業を開始した。広報等により啓発を行ってきた結果、利用件数が増えた。今後は、処理費用などの実態を踏まえ手数料の見直しが課題である。
----	----	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231	廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-263-51
	基本事業	①	ごみ処理施設コストの軽減		
	事務事業名		ごみ燃料化及び施設維持管理経費	担当部署	部・課名等 人権生活環境部さくらリサイクルセンター
					評価責任者・連絡先 所長 福島 照光 0595-20-9272

事務事業の概要	対象	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)から収集または持ち込まれた一般廃棄物(可燃ごみ)			
	目的	RDF化による処理を行う。			
	内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)において発生した一般廃棄物をRDF化処理し、桑名市に在る三重ごみ固形燃料発電所に搬出しました。			
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
		委託料	558,535,940円	施設維持管理 神鋼環境メンテナンス(株) 347,156,064円 RDF焼却業務委託料 三重県企業庁 191,729,222円	
		燃料費	156,960,167円		
		光熱水費	116,450,823円		
		消耗品費	91,379,503円	設備用部品	
		工事請負費	123,012,000円	施設整備工事費	
		その他	27,151,292円	嘱託員報酬、修繕料等	
		計	1,073,489,725円		

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	ごみ等処理手数料 物品等売払代金 電気ガス等使用料等
			地方債	54,700	38,000	92,200	0	
			その他	46,580	108,234	119,663	48,667	
			一般財源	763,926	758,438	861,627	875,517	
			合計(A)	865,206	904,672	1,073,490	924,184	
	人件費	正規職員	業務量	1.65 人	1.65 人	1.65 人	1.65 人	
			人件費	12,856	12,938	12,938	12,377	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	5.80 人	5.80 人	5.80 人	5.80 人	
			人件費					
		小計(B)	12,856	12,938	12,938	12,377		
合計(A+B)	878,062	917,610	1,086,428	936,561				
市民1人当たりのコスト(円)			9,314	9,829	11,637	10,130		

		指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標		RDF搬出量	ごみを固形燃料化して搬出した量	t	目標	/	11,200	11,400
					実績	11,400	11,678	12,233
		指標化できない成果	生活環境の向上度	達成	/	104.3%	107.3%	

方向	継続	課題及び改善案 桑名広域清掃事業組合が、新ごみ処理施設の入札を実施した結果、平成33年3月末から15ヶ月短縮され平成31年12月となる旨の報告があったため、三重県RDF運営協議会で前倒しについての検討を今後実施していく中で、伊賀市として「廃棄物処理のあり方検討に対する最終答申」に基づき、今後可燃ごみを民間委託処理に向けての計画を具体的に実施していく必要がある。
-----------	-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(細目)264資源化ごみ処理及び施設維持管理経費	決算書頁
250 - 0		225

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-264-51
	基本事業	② 分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上	担当部署	部・課名等
事務事業名	資源化ごみ処理及び施設維持管理経費		人権生活環境部さくらリサイクルセンター	評価責任者・連絡先 所長 福島 照光 0595-20-9272

事務事業の概要	対象	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)の一般廃棄物(金属類)		
	目的	一般廃棄物のうち金属類などから資源化可能なものを選別し、売却する。		
	内容	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて、伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)から搬入された金属類などの一般廃棄物から資源化物を選別、破砕処理して資源として売却しました。</p> <p>(主な再資源化物と売却金額)</p> <p>紙・布 9,885,120円 鉄くず 2,553,770円 アルミくず 2,839,500円 アルミ缶 3,452,120円 小型家電 476,900円 電気コード 644,140円 廃食用油 250,890円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	91,029,800円	施設維持管理及び保守点検業務委託料 83,022,840円 神鋼環境メンテナンス(株) 不燃性廃棄物埋立処分委託料 6,382,152円 (株)ヤマゼン、三重中央開発(株)	
	修繕料	4,224,315円		
	光熱水費	5,536,729円		
	工事請負費	28,728,000円	施設整備工事費	
	その他	3,514,068円	燃料費、消耗品費等	
	計	133,032,912円		

項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	ごみ等処理手数料 不燃性廃棄物処理手数料 物品等売払代金 再商品合理化拠出金
	地方債	28,900	27,700	21,500	
	その他	31,408	28,375	33,529	
	一般財源	70,754	84,731	78,004	
	合計(A)	131,062	140,806	133,033	
人件費	正規職員	業務量 1.05 人	1.05 人	1.05 人	1.05 人
		人件費 8,181	8,234	8,234	7,877
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人
		人件費			
	小計(B)	8,181	8,234	8,234	7,877
合計(A+B)	139,243	149,040	141,267	146,340	
市民1人当たりのコスト(円)	1,478	1,597	1,514	1,583	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資源化物売払量	処理した金属類を売払した量	t	目標		600	600
			実績	463	575	580
指標化できない成果	市民生活環境の向上度	達成		95.8%	96.7%	

方向	改善	課題及び改善案
		<ul style="list-style-type: none"> 改善可能な部分から作業環境の改善を実施する。 保守点検項目を見直す。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-264-52
	基本事業	① ごみ処理施設コストの軽減	担当部署	部・課名等
事務事業名	ストックヤード維持管理経費		人権生活環境部さくらリサイクルセンター	評価責任者・連絡先 所長 福島 照光 0595-20-9272

事務事業の概要	対象	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)の一般廃棄物(紙・布類)		
	目的	一時保管し、業者へ引き渡す。		
	内容	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)から収集した紙・布類を業者へ引き渡すまでの間の一時保管のための適正管理を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	2,939,460円	運営業務委託料 伊賀市シルバー人材センター 2,751,540円	
	光熱水費	407,862円	警備業務委託料 (株)安全警備 187,920円	
	その他	194,481円	消耗品費等	
	計	3,541,803円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,815	3,575	3,542	3,855
		合計(A)	3,815	3,575	3,542	3,855
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人
		人件費	1,948	1,961	1,961	1,876
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	1,948	1,961	1,961	1,876
合計(A+B)	5,763	5,536	5,503	5,731		
市民1人当たりのコスト(円)		62	60	59	62	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
紙・布類の搬出量	業者へ引き渡した量	t	目標		1,060	1,170	1000
			実績	1,270	1,167	941	
指標化できない成果	市民生活の向上度	達成		110.1%	80.4%		

方向	改善	課題及び改善案	将来は、資源化ごみ処理施設に集約したいと考えます。
----	----	---------	---------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(細目)265不燃物処理及び施設維持管理経費	決算書頁
252 - 0		225

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-02-265-51
	基本事業	① ごみ処理施設コストの軽減	担当部署	部・課名等
事務事業名	不燃物処理及び施設維持管理経費		人権生活環境部さくらリサイクルセンター	評価責任者・連絡先 所長 福島 照光 0595-20-9272

事務事業の概要	対象	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)の一般廃棄物(瓦・コンクリートなど)		
	目的	再資源化出来ない不燃物を埋め立て処理する。		
	内容	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)の一般廃棄物のうち瓦・コンクリートなど不燃物を埋め立て処理しました。また、不燃物処理場の適正な保全管理を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	業務嘱託員報酬	2,068,410円		
	委託料	1,251,180円	環境調査業務委託 (株)中部環境技術センター 693,900円 草刈業務委託 伊賀市シルバー人材センター 508,680円 整地業務委託 奥中建設(株) 48,600円	
	その他	700,825円	光熱水費、修繕料等	
	計	4,020,415円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	不燃性廃棄物処理手数料	
		地方債	0	0	0		
		その他	4,096	4,621	4,020		4,425
		一般財源	0	0	0		0
		合計(A)	4,096	4,621	4,020		4,425
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,948	1,961	1,961	1,876	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費					
		小計(B)	1,948	1,961	1,961	1,876	
合計(A+B)	6,044	6,582	5,981	6,301			
市民1人当たりのコスト(円)		65	71	65	69		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
処理量	埋立処分した量	t	目標		2,000	1,500
			実績	1,540	1,271	1,257
指標化できない成果	市民生活環境の向上度	達成		63.6%	83.8%	

方向	継続	課題及び改善案	埋立が、地下水、土壌などの環境に及ぼす影響について、調査を行うことにより注意し続ける必要があります。
----	----	---------	----------------------------------------------------

整理番号	253 - 0	(会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)03し尿処理費(細目)269し尿収集経費	決算書頁	227
------	---------	---------------------------------------------------	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-03-269-01
	基本事業	③ 生活排水の適正処理と維持管理の効率化	担当部署	部・課名等
事務事業名	し尿収集経費		人権生活環境部浄化センター	評価責任者・連絡先 所長 南 一朗 0595-23-1179

事務事業の概要	対象	旧上野市市街地における収集を希望する世帯のし尿																												
	目的	適切に収集する。																												
	内容	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づく一般廃棄物処理計画の策定により、管内におけるし尿収集に関する業務を、市の直営区域と許可業者による区域とに決めて行いました。</p> <p>直営による収集は、市内中心市街地を対象に、カレンダー方式で対象地区の収集日を定めて行う業務を基本としていますが、電話連絡等があれば随時、その収集にも対応しました。</p> <p>平成29年度は、収集困難世帯等の作業条件が悪い場所でも効率的な汲み取り作業に努めました。</p> <p>(直営収集による事業実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・し尿収集 <ul style="list-style-type: none"> 件数 11,938件 収集量 2,602,360リットル ・し尿汲取券売捌き <ul style="list-style-type: none"> 件数 278件(取扱店数 60箇所) 金額 29,727,036円 																												
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務嘱託員報酬</td> <td>10,257,508円</td> <td>収集業務嘱託員(5人)、集金・用務嘱託員(1人)</td> </tr> <tr> <td>業務嘱託員保険料</td> <td>1,496,325円</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>277,077円</td> <td>車両用消耗品等</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>940,130円</td> <td>し尿収集車等燃料、暖房用灯油等</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>226,260円</td> <td>し尿収集作業日程計画表印刷等</td> </tr> <tr> <td>自動車借上料</td> <td>3,920,400円</td> <td>パキューム車リース料</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,028,088円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,145,788円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	業務嘱託員報酬	10,257,508円	収集業務嘱託員(5人)、集金・用務嘱託員(1人)	業務嘱託員保険料	1,496,325円	6人	消耗品費	277,077円	車両用消耗品等	燃料費	940,130円	し尿収集車等燃料、暖房用灯油等	印刷製本費	226,260円	し尿収集作業日程計画表印刷等	自動車借上料	3,920,400円	パキューム車リース料	その他経費	2,028,088円		計	19,145,788円			
経費	金額	摘要																												
業務嘱託員報酬	10,257,508円	収集業務嘱託員(5人)、集金・用務嘱託員(1人)																												
業務嘱託員保険料	1,496,325円	6人																												
消耗品費	277,077円	車両用消耗品等																												
燃料費	940,130円	し尿収集車等燃料、暖房用灯油等																												
印刷製本費	226,260円	し尿収集作業日程計画表印刷等																												
自動車借上料	3,920,400円	パキューム車リース料																												
その他経費	2,028,088円																													
計	19,145,788円																													

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	21,442	23,179	19,146	21,799		
		合計(A)	21,442	23,179	19,146	21,799		
	人件費	正規職員	業務量	7.45 人	8.35 人	8.35 人	8.35 人	
人件費			58,043	65,473	65,473	62,634		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	58,043	65,473	65,473	62,634		
		合計(A+B)	79,485	88,652	84,619	84,433		
		市民1人当たりのコスト(円)	844	950	907	914		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	し尿収集量	市直営し尿収集によるし尿の収集量	ℓ	目標		2,700,000	2,700,000	2,600,000
				実績	2,940,530	2,803,090	2,602,360	
指標化できない成果			達成		103.8%	94.4%		

方向	縮小	課題及び改善案	市直営のし尿収集業務の民間移行に向けた協議を、し尿収集運搬許可業者等と継続して進めていきます。
----	----	---------	-------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-03-270-51
	基本事業	③ 生活排水の適正処理と維持管理の効率化		
	事務事業名	し尿処理及び施設維持管理経費	担当部署	部・課名等 人権生活環境部浄化センター
				評価責任者・連絡先 所長 南 一朗 0595-23-1179

事務事業の概要	対象	市内(青山地区を除く)より排出されるし尿及び浄化槽汚泥		
	目的	衛生的な処理及び適正な管理を行う。		
	内容	<p>浄化センターでは、し尿及び浄化槽汚泥を第1処理場及び第2処理場の合計処理能力150kl/日のし尿処理施設により処理しており、設備機器補修等の維持管理経費節減を図りつつ、管内住民の負託に十分応えるよう施設の管理運営を行いました。</p> <p>平成29年度においても、効率的な運転管理による燃料や電気の使用量の抑制に努めながら、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理しました。</p> <p>●施設処理能力 第1処理場 80kl/日 (低希釈二段活性汚泥処理+高度処理) 第2処理場 70kl/日 (高負荷脱窒素処理+高度処理)</p> <p>施設維持管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1処理場運転管理業務委託(クボタ環境サービス(株)中部支店) 49,977,000円 ・第2処理場運転管理業務委託(重環オペレーション) 62,635,680円 ・第2処理場受入槽清掃業務委託(株ビルドコーポレーション) 10,584,000円 ・予備貯留槽清掃業務委託(株ビルドコーポレーション) 1,890,000円 ・第1処理場各槽清掃業務委託(株ビルドコーポレーション) 3,240,000円 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	3,115,261円	施設設備管理用、水質検査薬品等	
	燃料費	21,808,638円	焼却・脱臭用重油、公用車燃料	
	光熱水費	41,037,364円	処理場電気使用料、水道使用料	
	修繕料	1,377,756円	施設設備修繕等	
	施設設備保守点検委託料	89,571,096円	施設設備点検整備業務委託料	
	施設維持管理委託料	128,569,680円	施設維持管理業務委託料	
	その他経費	6,873,476円		
	計	292,353,271円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	・その他 し尿汲取手数料 29,899千円 し尿処理手数料 9,119千円 電気ガス使用料 85千円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	40,597	39,070	39,149	39,070	
			一般財源	243,613	261,080	253,204	245,709	
	合計(A)			284,210	300,150	292,353	284,779	
	人件費	正規職員	業務量	0.75 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	
			人件費	5,844	5,097	5,097	4,876	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)			5,844	5,097	5,097	4,876		
合計(A+B)			290,054	305,247	297,450	289,655		
市民1人当たりのコスト(円)			3,077	3,270	3,186	3,133		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	水質検査の合格率	毎月放流水の水質検査を行い、適正に処理する。	%	目標	/	100	100	100
				実績	100	100	100	/
指標化できない成果			達成	/	100.0%	100.0%	/	

方向	継続	課題及び改善案 日によっては、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量が当施設の処理許容量を超えることもあり、予備貯留槽の活用も多くなっています。衛生的な処理を継続していくために施設設備の保守点検と維持管理に努めるとともに、処理能力に見合った適正な搬入量とするために許可業者や関係機関との調整を行います。
-----------	-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	231 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-02-03-270-52
	基本事業	③ 生活排水の適正処理と維持管理の効率化		
	事務事業名	施設整備事業(繰越明許費分)	担当部署	部・課名等 人権生活環境部浄化センター
				評価責任者・連絡先 所長 南 一朗 0595-23-1179

事務事業の概要	対象	浄化センター第1処理場及び第2処理場及びその設備機器		
	目的	新施設建設に向けての準備を進める。		
	内容	<p>老朽化している第1処理場と第2処理場の施設整備の補修経費が増嵩していたため、廃棄物処理のあり方検討委員会からは、2つの処理施設を統合し、さらに青山地区の処理も含めた規模での新施設を整備するという答申を受けました。</p> <p>平成28年度は、(仮称)伊賀市汚泥再生処理センターの建設に向け、発注支援業務を委託し、平成29年度に一部繰越し委託しました。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		設計業務委託料	7,208,000円	(仮称)伊賀市汚泥再生処理センター 施設整備工事発注支援業務委託 (復建調査設計株式会社 三重事務所)
		計	2,498,000円	

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					・国県支出金 循環型社会形成推進交付金 翌年度繰越額 2,498,000円
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	2,498	2,498	0	
		合計(A)	0	2,498	2,498	0	
		人件費	正規職員	0.00 人	人	人	人
			業務量				
			人件費	0	0	0	0
			臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人
	業務量						
		人件費					
		小計(B)	0	0	0	0	
		合計(A+B)	0	2,498	2,498	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	27	27	0	

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		正常稼働率	稼働予定日の内正常稼働日の割合	%	目標	/	100	100	
					実績	100	100		
	指標化できない成果			達成	/	100.0%			

方向	継続	課題及び改善案 新施設の建設に向け、関係部署との連携をとりながら業務を継続します。
-----------	-----------	--------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)01勤労者福祉会館運営費(細目)271勤労者福祉会館管理運営経費	決算書頁
256 - 0		227

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	999 施策なし	平成 16 年度～平成 32 年度	01-05-01-01-271-01
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等
	事務事業名	勤労者福祉会館管理運営経費	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	勤労者及び労働福祉団体等		
	目的	当市の勤労者福祉施策により、労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与することを目的とし、集会施設、労働者等の活動拠点として施設を提供する。		
	内容	伊賀市勤労者福祉会館施設の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、伊賀地区労働者福祉協議会へ指定管理を行いました。 【指定管理内容】 管理施設の利用許可に関する業務、管理施設の使用に係る使用料の徴収に関する業務、管理施設等の維持管理(清掃、保守点検、警備、修繕等)に関する業務、その他必要と認める業務		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託費	5,009,050円	伊賀市勤労者福祉会館指定管理料	
	需用費	5,400円	会館事務所空調機水漏れ修繕	
	計	5,014,450円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	885	873	1,033	893		
	一般財源	4,204	4,563	3,981	4,543		
	合計(A)	5,089	5,436	5,014	5,436		
	人件費	正規職員	業務量 0.22 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,715	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,715	1,569	1,569	1,501	
		合計(A+B)	6,804	7,005	6,583	6,937	
		市民1人当たりのコスト(円)	73	76	71	76	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	施設利用人数	年間利用実績	人	目標		4,000	4,000	4,000
				実績	3,687	3,549	4,265	
	指標化できない成果		達成		88.7%	106.6%		

方向	継続	課題及び改善案	設置目的の遂行のため継続する。 施設の老朽化が著しく耐震性能が低いため、公共施設最適化計画により、他施設への機能移転や集約化を図る。
----	----	---------	-----------------------------------------------------------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
		351	働く人の意欲に応え、能力が発揮できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-05-01-02-272-51
	基本事業	①	高齢者、若年者の職業相談事業		
	事務事業名	シルバー人材センター運営等経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
				産業振興部商工労働課	課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	市内在住の高年齢者			
	目的	高年齢者の就業機会の確保を目的とする伊賀市シルバー人材センターを支援し仕事の受託件数を増加させることで、高年齢者の雇用創出を図る			
	内容	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づいて事業を行う、知事の許可を受けた公益法人である伊賀市シルバー人材センターの運営費及びシルバー人材センター高齢者活用・現役世代雇用サポート事業費に対し支援を行いました。(平成30年3月末の会員数:861名) 高年齢者職業相談を22回開催し、148件相談を受けました。			
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
		負担金、補助及び交付金	15,038,000円	全国シルバー人材センター協会負担金 50,000円 三重県シルバー人材センター連合会負担金 50,000円 シルバー人材センター高年齢者就業機会確保事業費補助金 14,938,000円	
		計	15,038,000円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	12,988	15,238	15,038	15,338	
	合計(A)	12,988	15,238	15,038	15,338			
	人件費	正規職員	業務量	0.32 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	2,494	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,494	1,569	1,569	1,501			
合計(A+B)	15,482	16,807	16,607	16,839				
市民1人当たりのコスト(円)		165	181	178	183			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	仕事の受託件数	シルバー人材センターにおける仕事の受託件数	件	目標	/	6,000	6,000	6,000
				実績	5,794	5,711	5,901	
指標化できない成果			達成	/	95.2%	98.4%		

方向	継続	課題及び改善案 団体の自主的な事業方針を尊重しつつ、派遣事業の積極的な取組みを支援するとともに、それらの事業を推進していくために、会員の拡大についても支援を行い、更なる雇用の確保に努める。
-----------	-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	351	働く人の意欲に応え、能力が発揮できる	平成 16 年度～平成 32 年度	01-05-01-02-273-51
	基本事業 ①	高齢者、若年者の職業相談事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	雇用、勤労者対策事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先	課長 城北 博章 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	地元での就職を希望する学生及び求職者、市内の労働福祉団体及び市内に居住・勤務する労働者		
	目的	地元企業への就職による地域経済の後継者を育成する。市内に居住、勤務する労働者に対して労働者福祉の向上を図る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に居住する未就職者及び離職者の生活環境の安定的な向上を図るため、職業相談員を配置し、求人・求職情報の収集・提供など職業相談業務にあたり、就労支援に取り組みました。 ・「いが若者サポートステーション」等と連携し臨床心理によるカウンセリング経費に対し支援を行いました。 ・地域協働事業、学習支援、文化体育活動など勤労者福祉事業を運営する伊賀地区労働者福祉協議会への支援を行いました。 ・上野商工会議所、伊賀市商工会、名張商工会議所との共催によりU・J・ターンを含む合同就職セミナーを開催しました。(開催日:平成29年4月14日・参加企業46社・参加者92人、開催日:平成29年7月24日・参加企業59社・参加者42人、参加者合計134人のうち内定者12人) ・勤労者の生活安定、福祉向上のため、金融機関と連携して住宅資金や生活資金の貸付を行いました。(住宅資金10件、生活資金1件、計11件) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬・共済費	1,547,213円	職業相談員1名報酬・保険料	
	報償費	91,500円	若年無業者自立支援促進事業臨床心理士謝礼	
	負担金、補助及び交付金	1,290,330円	勤労者福祉事業補助金 800,000円	
			U・J・ターン促進事業負担金 266,330円	
			その他負担金(4件) 224,000円	
	貸付金	50,000,000円	勤労者住宅・生活資金融資貸付金	
	その他	239,409円	職業相談員活動等旅費・消耗品費	
	計	53,168,452円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	135	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	50,000	50,000	50,000	50,000		
	一般財源	3,134	3,113	3,035	3,118		
	合計(A)	53,134	53,248	53,168	53,253		
人件費	正規職員	業務量	0.42 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人	
		人件費	3,273	4,313	4,313	4,126	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,273	4,313	4,313	4,126		
	合計(A+B)	56,407	57,561	57,481	57,379		
	市民1人当たりのコスト(円)	599	617	616	621		

指標	指標名	指標の説明	単位	年度				
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
内定者数		合同就職セミナーをきっかけとして内定した人数(前年実績値)	人	目標		15	15	15
				実績	14	18	12	
	指標化できない成果		達成		120.0%	80.0%		

方向	継続	課題及び改善案	合同就職セミナーへの参加者数を増加させるため、開催時期の検討や広報PR活動の見直しを行う。
----	----	---------	-----------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-01-277-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進		
	事務事業名	事務局管理経費	担当部署	部・課名等 農業委員会事務局
				評価責任者・連絡先 事務局次長 小林 康志 0595-43-2312

事務事業の概要	対象	農業者及び農地所有者		
	目的	農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る。		
	内容	<p>○農業委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次総会(2回)、新規営農面接審査会(5回、10件)、役員会(12回)、(旧農地部会)月次総会(12回)、研修会(3回)の開催 ・行政庁に対する意見書提出(1回) ・市広報(9/15農業委員等名簿の掲載・3/1農作業賃金等掲載)、農家の相談業務(随時、農地法許認可申請等) <p>○法定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地法の権利移動の審査・許可業務 ・相続等による農地の権利取得の届け出の受理 ・農地転用の業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく業務 ・租税特別措置法の業務 <p>○農業振興業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業及び農業者に関する情報提供の業務 ・農地基本台帳の整備および地図情報化の推進に関する業務 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	11,450,254円	農業委員会委員、協力委員、農地利用最適化推進委員報酬	
	共済費	42,982円	事務補助員保険料	
	賃金	313,240円	事務補助員賃金	
	旅費	455,581円	農業委員会委員、協力委員、農地利用最適化推進委員費用弁償	
	需用費	465,360円	消耗品費、公用車燃料費、印刷製本費 他	
	委託料	3,472,200円	電算処理等委託料 [委託先]㈱ジオフォーラム	
	負担金、補助及び交付金	1,160,000円	三重県農業会議負担金 他	
	その他事務経費	137,620円	その他事務経費	
	計	17,497,237円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国庫支出金	7,031	19,661	9,981	13,151	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	6,122	8,032	7,517	9,014	
	合計(A)	13,153	27,693	17,498	22,165			
	人件費	正規職員	業務量	4.50 人	4.50 人	4.50 人	4.50 人	
			人件費	35,060	35,285	35,285	33,755	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	35,060	35,285	35,285	33,755				
合計(A+B)	48,213	62,978	52,783	55,920				
市民1人当たりのコスト(円)			512	675	566	605		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	利用権を設定した筆数	所有者の高齢化等で耕作困難となった農地を担い手に貸すことで、農業経営の合理化を図る。	筆	目標	/	1,800	1,800	1800
				実績	3,041	1,790	1,660	
指標化できない成果	農地転用申請精査による優良農地の確保。		達成	/	99.4%	92.2%		

方向	継続	課題及び改善案 米価の下落、農業者の高齢化、後継者不足などの現状で、現在ある「守るべき優良農地」を新たな地域担い手に託すことは地域農業を守る上で非常に重要である。また、耕作者の居ない荒廃農地や事実上山林化した農地などは「農業継続できず、転用も止むを得ない農地」として区別していく必要がある。
-----------	-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-01-279-01
	基本事業 ①	高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	農業者年金業務経費	農業委員会事務局	評価責任者・連絡先	事務局次長 小林 康志 0595-43-2312

事務事業の概要	対象	20歳以上の加入資格を有する農業者、加入者及び受給者																			
	目的	農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上のため。																			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(旧伊賀北部農業協同組合と旧伊賀南部農業協同組合が合併した)「JAいがふるさと」と連携して事務を受託した事業。 ・広報いが市(2/1新規加入者促進記事掲載)、加入推進部長を中心に月次総会(2回)、府中地区等の農業者(2回)への個別訪問で新規加入促進活動を実施。 ・年金給付に関する業務 裁定請求、現況届、死亡関係届、住所・口座変更届等に関する書類受付・精査及び独立行政法人農業者年金基金への提出。 年金受給者から経営移譲者への実体を伴った経営移譲の指導や年金受給者の無届けでの農業再開防止。 																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共済費</td> <td>85,796円</td> <td>事務補助員保険料</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>556,040円</td> <td>事務補助員賃金</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>5,313円</td> <td>公用車燃料費、消耗品費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>6,403円</td> <td>郵便料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>653,552円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	共済費	85,796円	事務補助員保険料	賃金	556,040円	事務補助員賃金	需用費	5,313円	公用車燃料費、消耗品費	役務費	6,403円	郵便料	計	653,552円			
経費	金額	摘要																			
共済費	85,796円	事務補助員保険料																			
賃金	556,040円	事務補助員賃金																			
需用費	5,313円	公用車燃料費、消耗品費																			
役務費	6,403円	郵便料																			
計	653,552円																				

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	農業者年金業務委託手数料 628千円	
		地方債	0	0	0		
		その他	680	678	628		628
		一般財源	109	118	26		215
		合計(A)	789	796	654		843
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,896	3,921	3,921	3,751	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 0.50 人	0.50 人	人	人	
		人件費	770	786			
		小計(B)	4,666	4,707	3,921	3,751	
合計(A+B)	5,455	5,503	4,575	4,594			
市民1人当たりのコスト(円)		58	59	50	50		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
農業者年金加入数	年度末時点の総年金加入者数	人	目標		12	13
			実績	11	12	11
指標化できない成果	現年金加入者、及び年金受給者に関する業務	達成		100.0%	84.6%	

方向	継続	課題及び改善案	独立行政法人農業者年金基金法に基づく受託業務であるため、事業継続が必要である。現在の受給権者数が津市に次ぐ県内第2位となっており、それに伴う事務事業が相当数発生しているが、今後も従前以上に加入推進部長を中心に「JAいがふるさと」と連携を密に取り、かつ各地区担当農業委員等との協力のうえ、担い手の農業者や新規営農者を対象に、戸別訪問等加入促進に努める。
----	----	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(細目)915農地集積・集約化対策事業	決算書頁
261 - 0		231

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 23 年度～平成 32 年度	01-06-01-01-915-51
	基本事業 ①	高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	機構集積支援事業		農業委員会事務局	評価責任者・連絡先 事務局次長 小林 康志 0595-43-2312

事務事業の概要	対象	市内の全農地と遊休農地所有者		
	目的	担い手への農地集積・集約化を図るため。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構等との連携を効果的かつ効率的に遂行するために、市内にある農地の利用状況について、8月～10月にかけて、農地法第30条に基づく、利用状況調査(田畑併せて5,216筆)を実施。 ・調査結果を取り纏め、遊休農地所有者に対し農地利用意向調査(239件、29ha)を実施。 ・調査結果を農地情報支援システムにデータを入力。 ・遊休農地の利用意向調査対象… 農地法第32条第1項又は第33条第1項の規定に該当する農地の所有者 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費	322,685円	事務補助員保険料	
	賃金	1,859,010円	事務補助員賃金	
	旅費	4,100円	農地有効利用のための制度実務研修旅費	
	需用費	207,070円	利用意向調査票等印刷費 他	
	役務費	40,276円	利用状況調査郵送料	
	委託料	346,680円	農地情報支援システム利用意向調査データ入力等業務委託	
	計	2,779,821円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	4,374	3,614	2,782	2,946	県補助金 ・機構集積支援事業費補助金2,782千円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	50	0	-2	0	
		合計(A)	4,424	3,614	2,780	2,946	
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,791	7,841	7,841	7,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 1.00 人	1.00 人	人	人	
		人件費	1,481	1,472			
		小計(B)	9,272	9,313	7,841	7,501	
合計(A+B)	13,696	12,927	10,621	10,447			
市民1人当たりのコスト(円)		146	139	114	113		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
農業振興地域内の遊休農地面積	遊休農地利用状況調査を毎年実施し、遊休農地の削減、ひいては解消を目指す。	㎡	目標		2,400,000	2,300,000
			実績	2,512,976	2,007,012	4,303,756
指標化できない成果	荒廃が進み農地に復元するのが困難な農地がある	達成		83.6%	187.1%	

方向	継続	課題及び改善案	農地法が改正され市内全ての農地を対象とした利用状況調査と、遊休農地所有者への利用意向調査が義務付けられた。今後利用状況調査は地区農業委員、(旧協力委員)農地利用最適化推進委員が実施しているが、調査結果の集約、その後の意向調査業務も含め相当の業務量になる。それに伴い予算措置が必要であるし、調査の精度向上を図らなければならない。
----	----	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(細目)282農道維持管理経費	決算書頁
262 - 0		233

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-02-282-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	広域農道・農免道路維持管理経費		産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先
				課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	農道の利用者		
	目的	農道利用者の通行に支障が出ないように維持管理を行う。		
	内容	農道の通行に支障が出ないように、傷んだ路面の補修・路肩の除草(延長46,107m)・側溝の清掃及び冬季の雪氷対策を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	農道修繕・補修工事	2,098,440円		
	草刈業務委託	7,794,540円		伊賀市比土 (株)福森組 伊賀市阿保 小岳建設(株) 他
	雪氷対策業務委託	896,172円		津元土木(有)・(有)太田建設
	その他の経費	834,665円		
	【繰越】 農免道路用地測量業務委託	1,620,000円		赤井測量設計(株)・(株)中央鑑定コンサルタント
	計	13,243,817円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	1,200	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	13,035	11,370	13,244	12,351
		合計(A)	14,235	11,370	13,244	12,351
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.10 人	1.10 人	1.10 人	1.10 人
		人件費	8,571	8,626	8,626	8,252
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	8,571	8,626	8,626	8,252
合計(A+B)	22,806	19,996	21,870	20,603		
市民1人当たりのコスト(円)		242	215	235	223	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	通行止等を行った日数	維持管理不良による通行不能日数	日	目標	0	0	0
				実績	0	0	0
指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	今後も農道利用者の通行支障が発生しないよう維持管理する。
----	----	---------	------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-02-283-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援		
	事務事業名	地すべり防止区域維持管理受託事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課
				評価責任者・連絡先 課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対 象	地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区		
	目 的	農林水産省農村振興局所管県管理にかかる地すべり防止区域の維持管理を受託して行う。		
	内 容	地すべり防止区域の巡視管理・状況調査を行いました。 管理面積 429.2 ha		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	地すべり防止区域維持管理委託料	300,000円	府中・大谷 429.2ha	

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金	300	300	300	300	地すべり防止区域維持管理委託金
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	0	0	0	0	
			合計(A)	300	300	300	300	
	人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
			人件費	1,169	1,177	1,177	1,126	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	1,169	1,177	1,177	1,126		
合計(A+B)	1,469	1,477	1,477	1,426				
		市民1人当たりのコスト(円)	16	16	16	16		

		指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	管理面積	地すべり防止を管理する区域面積	ha	目標	実績	429	429	429	429
					達成	100.0%	100.0%		
	指標化できない成果				達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 引き続き該当地区への業務委託が必要である。
-----------	-----------	----------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	721 健全な財政運営	平成 29 年度～平成 32 年度	01-06-01-02-692-51
	基本事業	① 持続可能な行財政運営の推進		
	事務事業名	農業集落排水事業繰出金	担当部署	部・課名等 財務部財政課
				評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	農業集落排水事業		
	目的	農業集落排水処理施設の経営健全化を図る。		
	内容	<p>平成29年度から下水道事業が地方公営企業法の適用となりました。 下水道事業会計農業集落排水事業において、農業集落排水処理施設の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費については使用料で賄うこととし、一般会計繰出金を次のとおり繰出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業起債償還に要した経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要した経費 ・下水道事業経営戦略策定業務に要した経費 ・機能強化対策事業に要した経費 ・大山田農業集落家庭生活雑排水処理施設の維持管理に要した経費 		
	事業に要した主な経費など	項目	金額	摘要
		繰出金	668,318,458円	農業集落排水事業繰出金

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・総務省の通知に基づく繰出金については、地方交付税等において考慮するものとされています。
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	0	673,330	668,318	717,910	
	合計(A)	0	673,330	668,318	717,910			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	人	人	人	
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	0	0	0			
合計(A+B)	0	673,330	668,318	717,910				
市民1人当たりのコスト(円)		0	7,212	7,159	7,765			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	課題及び改善案

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-287-51
	基本事業	① 高付加価値化の促進		
事務事業名	農業振興事務経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	農林政策に係る関係機関		
	目的	関係機関との連携や情報収集・提供によって、円滑な事業推進を図る。		
	内容	各関係機関・団体の活動を助成することにより、持続的な組織の育成を図り、特色ある地域農林業の確立に努めました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	934,500円	認定農業者協議会補助金	168,000円
	その他事務経費	72,000円	青空市推進協議会支援事業補助金	60,000円
			各団体負担金	706,500円
	計	1,006,500円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,007	867	1,061	1,338
		合計(A)	1,007	867	1,061	1,338
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.04 人	0.04 人	0.04 人
		人件費	312	314	314	301
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	312	314	314	301	
合計(A+B)	1,319	1,181	1,375	1,639		
市民1人当たりのコスト(円)		14	13	15	18	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	認定農業者協議会の研修会等の開催回数	回	目標		10	10
			実績	7	7	8
指標化できない成果		達成		70.0%	80.0%	

方向	継続	課題及び改善案	担い手農家の後継者不足と高齢化による地域営農組織等の衰退が顕著である。研修会等を開催して、各関係団体の育成を図る。
----	----	---------	-----------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 22 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-287-61
	基本事業 ②	担い手農家・集落営農等への支援		
事務事業名	耕作放棄地再生利活用対策事業	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	市内に所在する耕作放棄地(農業振興地域内農用地に限る)の解消する事業主		
	目的	耕作放棄地面積の減少および作物収量の向上		
	内容	耕作放棄地再生活動を計画する事業体に対し、10aあたりの単価を設定し交付金の補助をおこないました。 補助金の単価として、 ●耕作放棄地を解消し、菜種の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50000円 ●耕作放棄地を解消し、有機農業による作物の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50000円 ●上記以外で耕作放棄地を再生する農地・・・10aあたり30000円 の3タイプを挙げています。		
事業に要した主な経費など	交付金	150,000 円	耕作放棄地再生事業補助金	
	計	150,000 円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費				
		国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	150	1,050
	合計(A)	0	0	150	1,050	
	人件費					
	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.02 人	0.02 人	
	業務量					
	人件費	0	0	157	151	
	臨時・嘱託・再雇用職員					
	業務量					
	人件費					
	小計(B)	0	0	157	151	
	合計(A+B)	0	0	307	1,201	
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	4	13	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	交付金活用 農地面積	10a	目標		1	3
			実績			0.5
指標化できない成果			達成		50.0%	

方向	継続	課題及び改善案 引き続き耕作放棄地を再生していく事業に対し補助をすることで、市内の農地有効活用化を目指していく。尚、地域の方への告知を強化していくことで、事業予算を十分活用していく努力をしていく。
-----------	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)288農業振興地域整備計画促進事業	決算書頁
267 - 0		235

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-288-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	農業振興地域整備計画促進事業		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	農業振興地域		
	目的	農業振興地域内の農地転用の制限により、優良農地の減少を抑制する。		
	内容	<p>農業振興地域整備計画の変更について、「農業振興地域の整備に関する法律」及び「農地法」に基づき、適正な管理を行いました。</p> <p>【一般管理】 年2回募集を行い、農用地利用計画の変更(編入、除外、1ha以上の用途変更)手続き等を行いました。</p> <p>【軽微変更】 随時募集しており、農用地利用計画の変更(1ha未満の用途変更)手続き等を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	108,000円	農業振興地域整備促進協議会委員報酬	
	旅費	20,350円	農業振興地域整備促進協議会委員旅費	
	委託料	1,620,000円	農業振興地域整備計画策定業務委託料	
	計	1,748,350円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	7	8	12	0		
	一般財源	91	1,795	1,736	141		
	合計(A)	98	1,803	1,748	141		
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	3,117	3,137	3,137	3,001	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,117	3,137	3,137	3,001		
合計(A+B)	3,215	4,940	4,885	3,142			
市民1人当たりのコスト(円)			35	53	53	34	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					目標		
				実績			
	指標化できない成果	農業振興地域内の農地転用の制限により、優良農地の減少を抑制する。		達成			

方向	継続	課題及び改善案	法律に基づき、適切に事務を進める必要がある。
----	----	---------	------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-290-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	農業経営基盤強化促進事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	農業者の経営改善の推進		
	目的	農業経営改善計画の審査を行い担い手を育成する。		
	内容	農業経営改善計画45件、青年等就農計画3件の認定審査を行いました。 認定農業者に対し、経営改善計画の進捗状況の聞き取りなどフォローアップを行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	222,000円	農業経営基盤強化促進協議会委員報酬	
	報償費	39,664円	認定農業者研修会講師謝礼	
	計	261,664円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	246	301	262	341	
		合計(A)	246	301	262	341	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	人	
		人件費	1,948	1,961	1,961	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,948	1,961	1,961	0	
合計(A+B)	2,194	2,262	2,223	341			
市民1人当たりのコスト(円)		24	25	24	4		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	認定農業者数	人	目標		250	240	230
			実績	229	224	222	
指標化できない成果		達成		89.6%	92.5%		

方向	継続	課題及び改善案	担い手の育成とフォローアップに努めていく必要がある。
----	----	---------	----------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)290地域農政推進対策事業	決算書頁
269 - 0		235

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 24 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-290-53
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	人・農地プラン作成事業		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者		
	目的	持続可能な農業を実現するため、地域の中心となる経営体を確保し、農地集積を進める。		
	内容	<p>集落、地域での話し合いにより、地域の中心となる経営体への農地集積など、地域農業のあり方を記載した「人・農地プラン」の作成等、必要な支援を行いました。</p> <p>6月に各支所単位で説明会を実施し、その後要望のあった地区を対象に、事業説明会を開催しました。</p> <p>結果、新規に2プランが作成され、既設プランについても11プラン(延べ13プラン)の見直しがありました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	156,000円	委員報酬	
	旅費	26,381円	委員旅費	
	委託料	12,400円	人・農地プラン地図データCD作成 12,400円	
	その他事務経費	115,219円	消耗品費(ファイル・ペン等) 115,219円	
	計	310,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	250	155	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	250	155	155	167		
	合計(A)	500	310	310	334		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,896	3,921	3,921	3,751	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,896	3,921	3,921	3,751		
	合計(A+B)	4,396	4,231	4,231	4,085		
	市民1人当たりのコスト(円)	47	46	46	45		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	中心となる経営体の数	「人・農地プラン」に位置づけられた経営体数	体	目標		100	135	140
				実績	124	127	131	
指標化できない成果			達成		127.0%	97.0%		

方向	継続	課題及び改善案	地域の中心となる経営体への農地の集積や、就農移住を含めた新規就農者の確保のため、継続する必要がある。
----	----	---------	----------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)290地域農政推進対策事業	決算書頁
270 - 0		235

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 24 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-290-54
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	新規就農者総合支援事業		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満で、人・農地プランで中心経営体と謳われている新規就農者		
	目的	高齢化や後継者不足などの「人と農地の問題」の解決を図る。		
	内容	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付しました。 平成29年度は、合計4名に資金の交付を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	6,000,000円	農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)	

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	6,000	6,000	6,000	新規就農者総合支援事業費補助金 6,000,000円
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	
		合計(A)	6,000	6,000	6,000	
人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人
		人件費	2,727	2,745	2,745	2,626
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	2,727	2,745	2,745	2,626	
合計(A+B)	8,727	8,745	8,745	6,376		
市民1人当たりのコスト(円)		93	94	94	69	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	農業次世代人材投資資金の給付件数	件	目標		5	5
			実績	3	4	4
指標化できない成果		達成		80.0%	80.0%	

方向	継続	課題及び改善案	地域が抱える農業従事者の高齢化や後継者不足などの問題解決に向けて、青年就農者の定着を図るため、国の施策に基づき実施する必要がある。
----	----	---------	-------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 27 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-290-56
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	農地集積協力金交付事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者																			
	目的	地域の中心経営体への農地集積や分散錯圃の解消を目的に、農地中間管理事業を促進する。																			
	内容	<p>担い手への農地集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けた地域及び個人に対し協力金を交付しました。 (平成29年度実績:10地区 農地中間管理機構への貸付面積:約41.2ha)</p> <p>【地域集積協力金】 人・農地プランに基づき農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた場合、集積割合に応じて地域に対し交付する協力金</p> <p>【経営転換協力金】 人・農地プランに基づき機構へ自作地を貸し付けた農業者等で、農業部門の減少により経営転換する農業者や、リタイアする農業者などに交付する協力金</p> <p>【耕作者集積協力金】 人・農地プランに基づき機構の借受農地に隣接する農地又は面的集積要件満たす原則2筆以上の農地の機構への貸し付けに協力した農業者に対して交付する協力金</p>																			
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th style="width:50%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">236,456円</td> <td>事務補助員保険料</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">1,519,390円</td> <td>事務補助員賃金</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">5,700,700円</td> <td>地域集積協力金 3,872,700円 経営転換協力金 - 円 耕作者集積協力金 1,828,000円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td style="text-align: right;">335,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">7,791,546円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	共済費	236,456円	事務補助員保険料	賃金	1,519,390円	事務補助員賃金	負担金、補助及び交付金	5,700,700円	地域集積協力金 3,872,700円 経営転換協力金 - 円 耕作者集積協力金 1,828,000円	その他事務経費	335,000円		計	7,791,546円			
経費	金額	摘要																			
共済費	236,456円	事務補助員保険料																			
賃金	1,519,390円	事務補助員賃金																			
負担金、補助及び交付金	5,700,700円	地域集積協力金 3,872,700円 経営転換協力金 - 円 耕作者集積協力金 1,828,000円																			
その他事務経費	335,000円																				
計	7,791,546円																				

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		全体コスト(千円)	事業費	直接事業費			
国庫支出金	11,603			29,500	5,700	11,000	
地方債	0			0	0	0	
その他	2,000			2,000	2,000	2,000	
一般財源	0			100	92	0	
	合計(A)		13,603	31,600	7,792	13,000	
人件費	正規職員		業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人
			人件費	2,727	2,745	2,745	2,626
	臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人
			人件費				
	小計(B)		2,727	2,745	2,745	2,626	
	合計(A+B)	16,330	34,345	10,537	15,626		
	市民1人当たりのコスト(円)	174	368	113	170		

	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	指標	農地集積面積	農地中間管理機構へ貸付された農地面積	ha	目標	/	320	100
実績					323	67	41.2	/
指標化できない成果				達成	/	20.9%	41.2%	/

方向	継続	課題及び改善案 地域の中心となる経営体への農地集積を進めるため、国の施策に基づき引き続き実施する必要がある。
----	----	-----------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-291-51
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	農業経営基盤強化資金等利子助成事業		評価責任者・連絡先	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	認定農業者		
	目的	農業経営改善計画を具体的に実践し経営規模の拡大及び経営の効率化を図る。		
	内容	認定農業者が借り入れた農業制度資金の借入利子の一部を助成しました。 農業経営基盤強化資金利子助成 0.115%～0.25% 農業経営近代化資金利子助成 0.5%以内		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	1,722,776円	農業経営基盤強化資金利子助成金 499,384円 中核農業者育成資金利子助成金 1,223,392円	
	計	1,722,776円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	331	396	249	330	農業経営基盤強化資金利子補給補助金 249,299円
		国庫支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	1,706	2,405	1,474	2,113	
		一般財源	2,037	2,801	1,723	2,443	
	合計(A)						
人件費	人件費	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		業務量	780	785	785	751	
		人件費					
		臨時・嘱託・再雇用職員					
		業務量					
	小計(B)	780	785	785	751		
	合計(A+B)	2,817	3,586	2,508	3,194		
市民1人当たりのコスト(円)		30	39	27	35		

指標名	指標の説明	単位	目標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	対象者適用比率(助成者/申請者)	%	目標	/	100	100	100
			実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成	/	100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案 認定農業者の経営安定と効率化を図るため、引き続き実施する必要がある。
----	----	-----------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-292-51
	基本事業	③ 有害鳥獣被害への対策		
	事務事業名	鳥獣害防止事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
				評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	鳥獣害被害を被る農山村住民		
	目的	有害鳥獣の侵入を防ぎ被害の防除、軽減による農業経営の安定化、住環境の向上を図る。		
	内容	<p>農山村の鳥獣害を防止するため、市内の農地所有者に対し、電気柵等の共同防止設備設置に必要な購入資材の一部を助成しました。</p> <p>伊賀市獣害防止施設設置事業助成金:補助率 資材費×20%、上限30万円、下限1万円 伊賀市鳥獣害対策協議会として事業を実施する、ソフト・ハード事業に要する経費の一部を負担しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	獣害防止施設設置事業助成金	1,227,000円	助成件数 18件	
	伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	7,350,399円	事業実施地域 ソフト事業18自治協 ハード事業15自治協	
	その他事務経費	43,950円		
	計	8,621,349円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他	0	0	0			
		一般財源	9,264	11,938	8,621		14,077	
		合計(A)	9,264	11,938	8,621		14,077	
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.05 人	1.05 人	1.05 人		1.05 人	
		人件費	8,181	8,234	8,234		7,877	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人		人	人
		人件費						
		小計(B)	8,181	8,234	8,234		7,877	
合計(A+B)	17,445	20,172	16,855	21,954				
市民1人当たりのコスト(円)		186	217	181	238			

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	助成件数適用比率(助成件数/申請件数)	%	目標		100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%

方向	継続	課題及び改善案	平成30年度についても継続した被害防止対策が必要。
----	----	---------	---------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-293-51
	基本事業	① 高付加価値化の促進		
	事務事業名	伊賀米生産振興経費	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
				評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	伊賀米生産農業者、関係事業者及び地域の消費者。経営所得安定対策対象農業者		
	目的	伊賀米の生産基盤保持や安全安心な体制構築、経営所得安定対策等や伊賀米普及事業を推進する		
	内容	<p>稲作栽培の技術向上及び米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努めました。また、国の対策である経営所得安定対策の実施に必要な推進活動及び事務を実施しました。</p> <p>伊賀市農業再生協議会業務委託料 委託先:伊賀市農業再生協議会 主な業務:経営所得安定対策の推進及び関係事務</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費	230,327円		
	賃金	1,501,310円		
	委託料	13,579,000円	伊賀市農業再生協議会業務委託料	
	負担金、補助及び交付金	2,481,000円	伊賀米振興協議会負担金 2,481,000円	
	その他事務経費	48,363円		
	計	17,840,000円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 経営所得安定対策等推進事業費補助金
			国庫支出金	16,538	16,538	15,359	15,059	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	2,481	2,629	2,481	2,481	
		合計(A)	19,019	19,167	17,840	17,540		
	人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.40 人	1.40 人	1.40 人	
			人件費	10,908	10,978	10,978	10,502	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
				人件費				
			小計(B)	10,908	10,978	10,978	10,502	
	合計(A+B)	29,927	30,145	28,818	28,042			
	市民1人当たりのコスト(円)	318	323	309	304			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	伊賀米の集荷量	JAへの伊賀米出荷量	袋	目標	/	300,000	300,000	300,000
				実績	276,664	273,304	297,861	
指標化できない成果			達成	/	91.1%	99.2%		

方向	継続	課題及び改善案	協議会の運営については、伊賀市の意見や要望等が反映されるように努める。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)294中山間地域等直接支払交付金事業	決算書頁
275 - 0		235

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-294-51
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	集落協定締結集落及び集落協定参加者										
	目的	水源の涵養、保健休養の多面的機能が及び、住民の経済活動や生活環境を改善する。										
	内容	<p>集落協定締結集落に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。 また、交付金に関する研修会等を実施し推進しました。</p> <p>交付金額(単価) 水田急傾斜:21,000円/10a、水田緩傾斜:8,000円/10a、畑急傾斜:11,500円/10a、畑緩傾斜3,500円/10a 集落協定地区 65集落(平成29年度実績)</p>										
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金 その他事務経費</td> <td>111,556,728円 800,000円</td> <td>中山間地域等直接支払交付金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>112,356,728円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金 その他事務経費	111,556,728円 800,000円	中山間地域等直接支払交付金	計	112,356,728円			
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金 その他事務経費	111,556,728円 800,000円	中山間地域等直接支払交付金										
計	112,356,728円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	78,191	78,191	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	33,546	33,546	33,710	33,710		
	合計(A)	111,737	111,737	112,357	112,357		
人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.40 人	1.40 人	人	
		人件費	10,908	10,978	10,978	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	10,908	10,978	10,978	0		
	合計(A+B)	122,645	122,715	123,335	112,357		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,301	1,315	1,322	1,216		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	集落協定を維持できる集落の確保率	集落協定内容の遵守	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	高齢化や後継者不足等により、長期計画を立てるうえで支障をきたしているため、現状に見合った計画の策定等を指導・助言する。
----	----	---------	-------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)297農業公園管理経費	決算書頁
276 - 0		237

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-297-01
	基本事業 ①	高付加価値化の促進	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	農業公園管理経費		産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	市民ふれあい農園利用者及び農村ふれあいセンター利用者		
	目的	市民ふれあい農園の利用者を増加させ、農業振興施策に繋げる。		
	内容	<p>市民の憩い、交流、農業体験、地域文化体験等を促進し、市民のふれあい及び健康づくり、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民ふれあい農園契約区画数 136区画(総区画数:246区画) イベント 農業ふれあいまつり 7月17日(祝)開催 参加者数:約1,500人 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	7,000,000円	農業公園指定管理料 指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会	
	使用料及び賃借料	713,965円 117,720円 26,769円 14,742円	土地建物借上料 修繕料 青蓮寺用水供給事業負担金 消耗品費	
	計	7,873,196円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 行政財産使用許可(自動販売機設置にかかる使用料)141,000円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	141	141	141	31	
			一般財源	7,588	7,786	7,732	6,326	
	合計(A)	7,729	7,927	7,873	6,357			
	人件費	正規職員	業務量	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	
			人件費	1,559	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		1,559	1,569	1,569	1,501			
合計(A+B)	9,288	9,496	9,442	7,858				
市民1人当たりのコスト(円)			99	102	102	85		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	市民ふれあい農園利用率	市民ふれあい農園利用の区画利用率	%	目標 実績	60.0 57.31	60 55.28	60
	指標化できない成果			達成	95.5%	92.1%	

方向	縮小	課題及び改善案
		課題としては、利用者が少ないことがあげられ、増加させるためにはあらゆる手法を駆使してPRしていく必要がある。 公共施設最適化計画により農村ふれあいセンターを閉鎖した。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)298農村環境改善センター維持管理経費	決算書頁
277 - 0		237

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	721	健全な財政運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-298-01
	基本事業	② 公有資産の有効活用	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	農村環境改善センター維持管理経費	大山田支所振興課	課長 福永 賢治	0595-47-1150

事務事業の概要	対象	農村環境改善センターの利用者		
	目的	改善センターの維持管理業務を行い、市民各種団体による各種会議・各種講座に利用できる。		
	内容	<p>保守点検や各種検査を継続して実施するとともに、不良箇所については緊急性と故障を及ぼす影響範囲等を踏まえて修繕を行いました。</p> <p>年間を通じ、市民各種団体や公共団体による各種会議・各種講座に施設を利用しました。</p> <p>夜間・土日祝日の利用日は管理人に依頼して対応しました。</p> <p>利用者数12,469人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賃金	496,700円	管理人賃金	496,700円
	需用費	941,990円	消耗品費	82,972円
			燃料費・光熱水費	608,350円
			修繕費	250,668円
	役務費	110,160円	手数料	110,160円
	委託料	2,038,996円	施設設備保守点検業務・施設維持管理業務	2,038,996円
	使用料及び賃借料	753,192円	使用料及び賃借料	753,192円
	計	4,341,038円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	212	200	197	200	
			一般財源	4,331	4,203	4,144	4,224	
	合計(A)	4,543	4,403	4,341	4,424			
	人件費	正規職員	業務量	0.26 人	0.26 人	0.22 人	0.22 人	大山田農村環境改善センター使用料 197,200円
			人件費	2,026	2,039	1,726	1,651	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,026	2,039	1,726	1,651			
合計(A+B)	6,569	6,442	6,067	6,075				
市民1人当たりのコスト(円)			70	69	65	66		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	利用者数	大山田農村環境改善センターの利用者数	人	目標		15,000	15,000
				実績	13,788	14,154	12,469
指標化できない成果			達成		94.3%	83.1%	

方向	改善	課題及び改善案	施設及び設備の老朽化に伴い、部分修繕で足りず大規模修繕や設備自体の入替が必要となる場合には大幅な負担増が生じる。
----	----	---------	----------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)305地域バイオマス利活用推進事業	決算書頁
278 - 0		237

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-305-52
	基本事業 ①	高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	循環型農業実現モデル推進事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	菜の花プロジェクトに取り組む市民・団体(菜の花プロジェクト推進協議会を含む)、農村景観、地域経済		
	目的	菜の花プロジェクトを推進し、遊休農地での菜の花栽培や特産品販売拡大を通じて地域活性化を図る。		
	内容	遊休農地を利用して菜の花等資源作物を栽培することで、農村地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を推進しました。また、菜の花プロジェクト推進協議会を通じて、菜の花を核とした活動により農村地域だけに限らず市街地も含めた地域活性化を図りました。循環型農業を通じ、地域の活性化及び遊休農地の解消等の解決を図りました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	756,000円	伊賀市菜の花プロジェクト推進業務委託料	
	消耗品費	808,212円		
	印刷製本費	94,500円		
	修繕費	73,366円		
	計	1,732,078円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,817	1,913	1,732	1,819	
		合計(A)	1,817	1,913	1,732	1,819	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	780	785	785	751	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	780	785	785	751	
合計(A+B)	2,597	2,698	2,517	2,570			
市民1人当たりのコスト(円)		28	29	27	28		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
菜種の生産数量	市内で収穫・出荷された菜種の数量	kg	目標		35,000	35,000
			実績	13,757	33,713	22,460
指標化できない成果		達成		96.3%	64.1%	

方向	継続	課題及び改善案	菜種油の販路拡大を図らないと資源循環型農業にはならないため、販路拡大に努力する。
----	----	---------	------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-319-51
	基本事業	① 高付加価値化の促進		
	事務事業名	特産農産物等振興事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
				評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	特定の農産物を栽培する生産組織及び生産者。近隣及び大都市圏の消費者。		
	目的	伊賀の特産食材の流通量の増加、生産意欲の向上、生産拡大を図り、観光客の増加を図る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特産農産物(搾油用菜種、アスパラガス)の生産、流通の構造改革を推進し、農産物の高付加価値化と栽培農家の経営向上を図りました。 ・伊賀市特産食材の販売促進活動を実施することによる農業者の生産意欲の向上を図り、さらに観光客誘致に繋げました。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		報償費	125,400円	伊賀産食材販路拡大事業(地方創生推進 対象)
		旅費	226,959円	伊賀産食材販路拡大事業(地方創生推進 対象)
		需用費	18,856円	伊賀産食材販路拡大事業(地方創生推進 対象)
		役務費	45,879円	伊賀産食材販路拡大事業(地方創生推進 対象)
		委託料	3,240,000円	伊賀産食材販路拡大事業(地方創生推進 対象)
		使用料および賃借料	3,880円	
		負担金および補助金	3,309,456円	特産農産物等生産振興補助金
		計	6,970,430円	

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国庫支出金	0	2,208	1,828	2,188	地方創生推進付金(経費1/2) 対象経費H29 3,657,094円
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	34	7,108	5,142	4,588	
			合計(A)	34	9,316	6,970	6,776	
	人件費	正規職員	業務量	0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	
			人件費	6,233	6,273	6,273	6,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	6,233	6,273	6,273	6,001		
合計(A+B)	6,267	15,589	13,243	12,777				
市民1人当たりのコスト(円)			67	167	142	139		

指標名		指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	アスパラガスの出荷量	アスパラガスのJAへの出荷量	kg	目標	23,000	22,000	22,000
				実績	19,475	16,600	16,953
	指標化できない成果		達成	72.1%	77.1%		

方向	継続	課題及び改善案	農家の生産意欲向上のため、伊賀産農産物等の魅力をPRし、認知度を高めながら販路拡大に努める。
-----------	-----------	----------------	------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)321有害鳥獣駆除事業	決算書頁
280 - 0		237

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-321-51
	基本事業	③ 有害鳥獣被害への対策	担当部署	部・課名等
事務事業名	有害鳥獣駆除事業		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	被害農家等、地元の猟友会及び会員														
	目的	有害鳥獣個体数の減少による生息数の適正化及び農作物・畑作物被害の削減を図る。														
	内容	有害鳥獣駆除奨励委託料(有害鳥獣捕獲出役、安全対策費)及び報償費(猪、鹿、猿捕獲に対する報奨金)を支出しました。 委託先:伊賀市猟友会														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>26,350,000円</td> <td>有害駆除報償費(イノシシ・シカ@10,000円、サル@30,000円)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>7,801,000円</td> <td>有害捕獲頭数 イノシシ1,004頭 シカ1,619頭 サル4頭 有害鳥獣駆除奨励委託料 6,950,000円 特定外来種駆除委託料 851,000円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>83,802円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,234,802円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	26,350,000円	有害駆除報償費(イノシシ・シカ@10,000円、サル@30,000円)	委託料	7,801,000円	有害捕獲頭数 イノシシ1,004頭 シカ1,619頭 サル4頭 有害鳥獣駆除奨励委託料 6,950,000円 特定外来種駆除委託料 851,000円	その他事務経費	83,802円		計	34,234,802円
経費	金額	摘要														
報償費	26,350,000円	有害駆除報償費(イノシシ・シカ@10,000円、サル@30,000円)														
委託料	7,801,000円	有害捕獲頭数 イノシシ1,004頭 シカ1,619頭 サル4頭 有害鳥獣駆除奨励委託料 6,950,000円 特定外来種駆除委託料 851,000円														
その他事務経費	83,802円															
計	34,234,802円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	23,016	19,200	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	3	3	0	0		
	一般財源	13,377	17,897	14,011	14,791		
	合計(A)	36,396	37,100	34,235	36,791		
	人件費	正規職員	業務量 1.05 人	1.05 人	1.05 人	1.05 人	
		人件費	8,181	8,234	8,234	7,877	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 1.00 人	0.00 人	人	人	
		人件費	1,231				
		小計(B)	9,412	8,234	8,234	7,877	
		合計(A+B)	45,808	45,334	42,469	44,668	
		市民1人当たりのコスト(円)	486	486	455	484	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	捕獲頭数		有害鳥獣を捕獲し、個体数を調整する。 (猪、鹿、猿)	頭	目標		2,120	2,400
					実績	2,457	2,813	2,627
	指標化できない成果		達成		133.0%	109.4%		

方向	継続	課題及び改善案	被害対策として有害捕獲の推進が必要。
----	----	---------	--------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 26 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-327-51
	基本事業	②	担い手農家・集落営農等への支援		
	事務事業名	経営体育成支援事業		担当部署	部・課名等
				産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先
					課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	農業経営体		
	目的	地域農業の中心となる農業経営体の育成・支援		
	内容	<p>平成28年度経営体育成支援事業においては、人・農地プランに位置付けられた地域の中心となる農業経営体が融資等を受け、農業用機械等を導入する際の融資残について補助金を交付し、主体的な経営展開を支援しました。</p> <p>交付件数 2件</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		負担金、補助及び交付金	4,768,000円	経営体育成支援事業補助金

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					経営体育成支援事業補助金 4,768,000円	
		国県支出金	4,768	0	0			
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	4,768	0	0	0		
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	人		人
			人件費	780	785	0		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	780	785	0	0		
	合計(A+B)	5,548	785	0	0			
		市民1人当たりのコスト(円)	59	9	0	0		

	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	後年度、国が実施する のか未定である			目標	/			
				実績				
	指標化できない成果			達成	/			

方向	継続	課題及び改善案 地域農業の中心となる農業経営体の育成を目的とし、国の施策に基づき実施するが、国が本事業を実施するの、実施されたとしても毎年度要件等が変更されることが予想されるため、後年度の計画が把握できない。
-----------	-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
		321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-657-51	
		基本事業	① 高付加価値化の促進	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
		事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業		産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者				
	目的	上記の対象農業者に対し、交付金を交付することで農業生産活動の実施を推進する。				
	内容	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金を交付しました。				
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	負担金、補助及び交付金 その他事務経費	1,943,175円 108,000円	環境保全型農業直接支払交付金			
	計	2,051,175円				

		項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金	1,883	1,999	1,544	1,989	環境保全型農業直接支援対策交付金 1,544,775円
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	590	627	507	627	
			合計(A)	2,473	2,626	2,051	2,616	
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	1,559	1,569	1,569	1,501	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	1,559	1,569	1,569	1,501		
合計(A+B)	4,032	4,195	3,620	4,117				
		市民1人当たりのコスト(円)	43	45	39	45		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		実施面積	環境保全型農業に取り組む実施面積	ha	目標	/	35	35	30
					実績	30.89	30.79	25.32	
	指標化できない成果			達成	/	87.9%	72.3%		

方向	継続	課題及び改善案 環境型農業に取り組む農業者を増やしていかなければならないため、制度の周知に努めていく必要がある。
-----------	-----------	-------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(細目)660循環型農業推進施設管理経費	決算書頁
283 - 0		237

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-03-660-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	循環型農業推進施設管理経費		産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	資源循環型農業推進施設		
	目的	持続可能な資源循環型農業、特産品づくり及び地域景観の向上を促進し、地域活性化を図る。		
	内容	<p>菜の花プロジェクトを推進するうえで核となる施設(菜の舎、バイオ燃料センター)の管理運営を委託し、伊賀産菜種油の生産、資源循環型モデル事業の一環として廃食油を精製しBDF(バイオディーゼル燃料)の生産に取り組んだ。 指定管理先: 一社)大山田農林業公社</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	3,000,000円	循環型農業推進施設指定管理料	
	需用費-修繕費	283,284円	委託先: 一般社団法人 大山田農林業公社	
	計	3,283,284円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	1,739	3,452	3,283		3,452
		合計(A)	1,739	3,452	3,283		3,452
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	3,117	3,137	3,137	3,001	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	3,117	3,137	3,137	3,001	
合計(A+B)		4,856	6,589	6,420	6,453		
市民1人当たりのコスト(円)		52	71	69	70		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
指標	菜種の搾油量	搾油された菜種油の数量	kg	目標	4,000	4,000	4,000
				実績	5,000	5,640	6,085
指標化できない成果			達成	141.0%	152.1%		

方向	継続	課題及び改善案	菜の花プロジェクトの概要や資源循環型農業推進施設の役割等を広く周知することが必要である。
----	----	---------	----------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-04-306-52
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	集落営農支援事業		評価責任者・連絡先	課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	営農活動のための農業用機械器具または、建物の新設及び改修を必要としている集落営農組織		
	目的	集落営農組織を支援し、地域農業の安定的発展と集落環境及び機能を維持する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農支援事業 集落営農組織を対象に農業用機械器具の購入費の助成または、営農組織等に必要な建物の新築・改修費の助成を行いました。 ・農業経営の法人化支援事業 農業経営の法人設立に対して助成を行いました。 ・集落営農の組織化支援事業 集落営農組織の設立に対して助成を行いました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	10,826,000円	集落営農支援事業補助金	8,826,000円
			農業経営の法人化支援事業補助金	1,200,000円
			集落営農支援事業 400,000円×3法人	
			集落営農の組織化支援事業補助金	800,000円
			集落営農支援事業 200,000円×4組織	
	計	10,826,000円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費					農用地利用集積特別対策事業費補助金 2,000,000円 (10/10)法人化・組織化
		国庫支出金	800	1,800	2,000	1,800	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,752	9,000	8,826	9,000	
合計(A)	8,552	10,800	10,826	10,800			
人件費	正規職員	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人		
	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人		
	人件費	1,559	1,569	1,569	1,501		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人		
業務量	人	人	人	人			
人件費							
小計(B)	1,559	1,569	1,569	1,501			
合計(A+B)	10,111	12,369	12,395	12,301			
市民1人当たりのコスト(円)		108	133	133	134		

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
助成件数	補助金の助成件数	件	目標		10	14
			実績	12	13	17
指標化できない成果		達成		130.0%	121.4%	

方向	継続	課題及び改善案 集落営農組織については、組織化・法人化ともに行政の支援が必要であり、関係部局(三重県、JA等)と連携を密にしなければならない。平成30年度より組織化・法人化助成は制度改正により国の直轄事業となる。
----	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～平成 32 年度	01-06-01-04-306-53
	基本事業	① 高付加価値化の促進		
	事務事業名	農林業公社及び生産組合支援事業	担当部署	部・課名等
			産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先
				課長 堀 久仁寿 0595-43-2301

事務事業の概要	対象	一般社団法人大山田農林業公社及び会員		
	目的	地域の農家の住環境向上や営農継続を支援し、公社自体の運営体制の強化充実を図る。		
	内容	農用地等の保全事業等を行うとともに農業経営の合理化を図るため、農地保有合理化の促進、生産性の高い近代的農業の確立を目的に大山田農林業公社に対し運営助成を実施しました。大山田農林業公社が主体となり遊休農地の解消、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などに取り組みました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		負担金、補助及び交付金	4,500,000円	大山田農林業公社負担金 4,000,000円 大山田農林業公社運営助成金 500,000円

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費				
		国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	6,500	4,500	4,500	4,500
	合計(A)	6,500	4,500	4,500	4,500	
	人件費	正規職員	0.20 人	0.20 人	0.20 人	2.00 人
		業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	2.00 人
		人件費	1,559	1,569	1,569	15,002
		臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人
		業務量	人	人	人	人
	人件費					
	小計(B)	1,559	1,569	1,569	15,002	
	合計(A+B)	8,059	6,069	6,069	19,502	
	市民1人当たりのコスト(円)	86	66	66	211	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標	特産品販売高	千円	目標	25,000	25,000	25,000
			実績	26,900	22,001	22,114
指標化できない成果		達成	88.0%	88.5%		

方向	継続	課題及び改善案 公社運営の改善をスピード感を持って実施していくように指導しなければならない。
-----------	-----------	-------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(細目)303ふるさと水と土保全対策事業	決算書頁
286 - 0		239

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 27 年度～平成 31 年度	01-06-01-05-303-51
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	ふるさと水と土保全対策事業	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先	課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	事業実施地域住民		
	目的	土地改良施設を基本とする地域住民活動の活性化		
	内容	農村景観の保全など農村環境の維持管理活動に対して、県からの補助金を事業主体である種生地区へ交付しました。		
事業に要した主な経費など	補助金交付先	金額	摘要	
	種生第3期地域代表	157,000円	5年計画の3年目	

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	156	157	157	157	ふるさと水と土保全対策費補助金
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
	合計(A)	156	157	157	157	
人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
	人件費	1,169	1,177	1,177	1,126	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
	人件費					
	小計(B)	1,169	1,177	1,177	1,126	
合計(A+B)	1,325	1,334	1,334	1,283		
市民1人当たりのコスト(円)		15	15	15	14	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年次計画活動の達成度		%	目標		100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	今後も引き続き、取組地区の計画が有益となるよう指導する。
----	----	---------	------------------------------

基本情報		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-05-308-51
	基本事業	⑤	農業・農村の多面的機能維持向上への支援		
	事務事業名	土地改良事業管理経費		担当部署	部・課名等
				産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先
					課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	三重県土地改良事業団体連合会及び土地改良区			
	目的	対象となる団体の活動が円滑となる。			
	内容	三重県土地改良事業団体連合会の賦課金と市内の土地改良区へ運営補助金を支出しました。			
	事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		一般賦課金	110,000円	平等割、耕地面積割	
		特別賦課金	925,000円	平成28年度実施事業費割	
		土地改良区補助金	1,630,000円	伊賀町改良区、阿山町土地改良区	
		その他の経費	20,000円		
		計	2,685,000円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	2,579	2,813	2,685	2,564	
	合計(A)	2,579	2,813	2,685	2,564			
	人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
			人件費	1,169	1,177	1,177	1,126	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		1,169	1,177	1,177	1,126			
合計(A+B)	3,748	3,990	3,862	3,690				
市民1人当たりのコスト(円)		40	43	42	40			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	補助対象土地改良区	合併改良区の自立	団体	目標	/	2	2	2
				実績	2	2	2	
指標化できない成果			達成	/	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 土地改良区への補助金については、使途目的が明確となる事業等を創設することが必要である。
-----------	-----------	------------------------------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(細目)308土地改良事業管理経費	決算書頁
288 - 0		239

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-05-308-52
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先
				課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	過去に造成された土地改良施設の施設及び受益者																	
	目的	土地改良施設の老朽化部分を更新して施設機能の回復を図る。																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 川西地区の鶴喰池・下池グラウトの改修を行いました。 御代地区の三構頭首工の改修を行いました。 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴喰池・下池グラウト改修工事</td> <td>10,044,000円</td> <td>川西地内</td> </tr> <tr> <td>三構頭首工改修工事</td> <td>7020,000円</td> <td>御代地内</td> </tr> <tr> <td>土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</td> <td>6,305,000円</td> <td>土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(11地区)の事業拠出金</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>13,682円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,382,682円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	鶴喰池・下池グラウト改修工事	10,044,000円	川西地内	三構頭首工改修工事	7020,000円	御代地内	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	6,305,000円	土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(11地区)の事業拠出金	その他経費	13,682円		計	23,382,682円
経費	金額	摘要																	
鶴喰池・下池グラウト改修工事	10,044,000円	川西地内																	
三構頭首工改修工事	7020,000円	御代地内																	
土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	6,305,000円	土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(11地区)の事業拠出金																	
その他経費	13,682円																		
計	23,382,682円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	600	400	800	1,200		
	その他	13,498	10,817	16,163	29,687		
	一般財源	3,108	4,254	6,420	5,328		
	合計(A)	17,206	15,471	23,383	36,215		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,896	3,921	3,921	3,751	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,896	3,921	3,921	3,751		
	合計(A+B)	21,102	19,392	27,304	39,966		
	市民1人当たりのコスト(円)	224	208	293	433		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標		2	3	2
				実績	1	2	3	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	農業用施設の補修等の要望は多く、本事業での対応箇所が増加しており、計画的整備が必要である。
----	----	---------	-----------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-05-309-51
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
事務事業名	市単土地改良事業		産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 山本 学 0595-43-2304

事務事業の概要	対象	国・県等の補助対象とならない、受益者2戸以上の小規模な土地改良事業を行おうとする受益者		
	目的	農業用施設のきめ細やかな整備を行い農業生産性の向上と施設維持管理費の軽減を図る。		
	内容	伊賀市土地改良事業等に対する小規模工事費補助及び材料費補助を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	小規模土地改良事業等補助金	6,429,736円	21件	
	その他の経費	274,508円	三重県自治体共同積算システム等使用料	(7台分)
	計	6,704,244円		

項目		28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	7,208	6,748	6,704	6,703
		合計(A)	7,208	6,748	6,704	6,703
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人
		人件費	3,117	3,137	3,137	3,001
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	3,117	3,137	3,137	3,001	
合計(A+B)	10,325	9,885	9,841	9,704		
市民1人当たりのコスト(円)		110	106	106	105	

指標名	指標の説明	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算の執行率	予算の執行割合	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	大規模土地改良事業は国・県等の補助対象となるが、小規模土地改良事業については支援施策がないため、優良な農地の維持を行ううえでは必要不可欠である。
----	----	---------	--------------------------------------------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～平成 32 年度	01-06-01-05-311-51
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援		
	事務事業名	県営事業負担金	担当部署	産業振興部農村整備課
			部・課名等	課長 山本 学
				0595-43-2304

事務事業の概要	対象	県営土地改良事業を行う受益範囲の受益者																			
	目的	国・県の補助を受けて行う大規模な土地改良事業の受益者負担の内、市が負担すべき負担金を負担する。																			
	内容	<p>県営事業で行っている下記の4事業の市負担金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池等整備事業(河川対応)による頭首工の撤去 ・農村振興総合整備事業による農業施設の改修 ・基幹農道整備事業(保全対策型)による農道の補修 ・農業競争力強化基盤整備事業による農業施設の改修 																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">事業名</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th style="width:50%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営ため池等整備事業</td> <td style="text-align: right;">7,600,000円</td> <td>西明寺井堰地区</td> </tr> <tr> <td>県営農村振興総合整備事業</td> <td style="text-align: right;">31,201,549円</td> <td>伊賀2期地区</td> </tr> <tr> <td>基幹農道整備保全対策事業</td> <td style="text-align: right;">12,487,204円</td> <td>(保全対策型)</td> </tr> <tr> <td>農業競争力強化基盤整備事業</td> <td style="text-align: right;">1,140,562円</td> <td>青蓮寺用水2期地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">52,429,315円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	金額	摘要	県営ため池等整備事業	7,600,000円	西明寺井堰地区	県営農村振興総合整備事業	31,201,549円	伊賀2期地区	基幹農道整備保全対策事業	12,487,204円	(保全対策型)	農業競争力強化基盤整備事業	1,140,562円	青蓮寺用水2期地区	計	52,429,315円		
事業名	金額	摘要																			
県営ため池等整備事業	7,600,000円	西明寺井堰地区																			
県営農村振興総合整備事業	31,201,549円	伊賀2期地区																			
基幹農道整備保全対策事業	12,487,204円	(保全対策型)																			
農業競争力強化基盤整備事業	1,140,562円	青蓮寺用水2期地区																			
計	52,429,315円																				

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	28年度決算	29年度当初予算	29年度決算	30年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	38,500	0	20,300	0	
			その他	8,891	0	12,262	0	
			一般財源	28,026	0	19,867	0	
	合計(A)	75,417	0	52,429	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	人	0.35 人	人	
			人件費	2,727	0	2,745	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,727	0	2,745	0			
合計(A+B)	78,144	0	55,174	0				
市民1人当たりのコスト(円)		829	0	591	0			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算の執行率	予算の執行割合	%	目標	/	100	100	100
				実績	100	100	100	/
指標化できない成果			達成	/	100.0%	100.0%	/	

方向	継続	課題及び改善案
		農業基盤整備の進捗を図るため継続実施する。